



芦安中学校だより

第 6 号

校長 大石 浩雄

2025. 6. 30

☆プール開きを行いました

6月18日(水)の2校時にプール開きを行いました。梅雨の時期ではありますが、ここのところ気温が30℃を超えることもあり、生徒にとっては待ち遠しいプールの授業だったと思います。プール開きの中では、事故防止のための注意点などを指導しましたが短時間で終了して、その後は今年度初の水泳授業を行いました。生徒達は気持ちよさそうに水に入っていました。

この日から1学期末までの約1か月間、体育の授業が基本的に水泳となります。世間では水泳の授業を敬遠する生徒のことをよく聞きます。確かに着替えをしたり、髪を乾かさなければならなかったりと面倒なことがあるかもしれませんが、ただ、水泳の授業は、泳ぎの技術だけでなく、仲間と協働することや水に入るときにの注意点、いざというときの命の守り方まで、将来生きていく上で必要なことを学ぶ機会です。面倒に思う気持ちもわかりますが、その気持ちのために大切な学びの機会を失うことは、自分の将来をどんどん縮めてしまっているように感じます。芦安中の生徒には、自分の将来の可能性が広がるような選択ができる力を身につけてもらいたいと思います。



☆花壇の除草とマリーゴールドの植え付け

6月19日(木)の朝の時間を使って校庭の花壇にマリーゴールドの植え付けを行いました。「あしやす」という形にならべて植えるという作業を楽しんでできていました。作業中、昨年は植えた直後にシカに食べられてしまったから、今年はテントに泊まって見張りをしようといった話をする生徒もいました。これまでの経験に基づき次の方法を考えるということができた点



で、こういう考え方をするところぞ令和型の学びにつながると思いました。

せっかく植えたマリーゴールドを食べられてしまうことは悲しいことです。ただその経験を前提に、「深く考えず前年と同じことをする」のか、「どうせ食べられてしまうのだからと活動をやめてしまう」のか、それとも「シカに食べられないような方法を考え実行してみる」のかでは、学びの深さや生きる力に大きな差があります。教科の内容とは直接関係ありませんが、子どもの「学び」について考える機会になるといいと感じました。

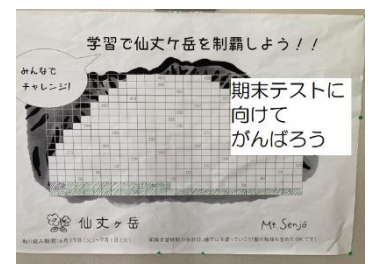


☆全校登山スローガン 和衷協同(わちゅうきょうどう)

7月7・8日に実施予定の全校登山に向けたスローガンが登山実行委員会を中心に話し合われ、「和衷協同～みんなて協力しながら、ともに山頂へ～」と決定しました。このスローガンには、登りきるという強い意志や仲間の心をついにして励まし合うこと、一緒に登ってくれる方への思い等を込めたとのことでした。

全校登山に関連してもうひとつ、学習でも仙丈ヶ岳を制覇しようという取り組みが始まっています。生徒それぞれが家庭学習をした時間分だけマスを塗りつぶすチャレンジです。生徒によって家庭学習の時間に多少の差があるかもしれませんが、みんなてひとつの目標に向けて自分ができる努力を精一杯するという経験は、「他者との協働」をするときに大切な心構えをつくってくれるでしょう。

全校登山に限らず芦安中の多くの活動は、社会に出たときに必要な力(＝非認知能力と言われます)の育成を目指しています。生徒がスローガンに掲げた通り、最後までやり抜く力や他者と協働する力を身につけていくことに期待しています。



☆防犯教室(SNS 学習会)を 実施しました

6月23日(月)の6校時、南アルプス警察署から3名の講師をお招きして防犯教室(SNSの危険性等についての学習会)を行いました。学習会の中では、身近にある犯罪として、落書きやポイ捨て、いじめ、万引き、ネットでの誹謗中傷などがあること、最近の傾向として薬物や出会い系サイトへのアクセスの危険性が高まっていること等が話されました。



最近はスマホを持っている子供が増加していますが、それに伴い、いろいろな問題や危険も増加傾向です。子ども本人が軽い気持ちで犯罪を起こす場合と逆に犯罪の被害者となる場合、どちらも増加しています。これからの社会ではスマホやPC等を使うスキルは欠かすことができないものです。だからこそ、それを正しく使い、危険を避ける判断力や自制心がとても重要になってきます。学校でもこうした指導は継続的に取り組んでいますが、ご家庭でもぜひお子様のネットとの向き合い方についてご指導をお願いいたします。

☆広河原で開山祭に参加 & 自然学習を実施しました

6月28日(土)の午前に広河原で行われた南アルプス開山祭に全校生徒が参加しました。開山祭では市観光課の要請で合唱の披露をさせていただきました。市長や市議会議員をはじめ日頃生徒がお世話になっている芦安FCや山岳連盟の方、環境省のみなさん、山小屋関係者、警察関係者などたくさんの方々と開山を待ち望んでいた登山客がいきました。そうした多くの方たちの前で合唱をできたことは、他では経験できないとても貴重なことであったと思います。会場にいた参加者からも小中学生がさわやかな声で歌ってくれてよかったなどの声をいただきました。



午後は芦安FCのみなさんにご協力をいただき、広河原園地で自然観察学習を行いました。自然についての

興味関心や知識を持つことももちろんですが、小学生との縦割りグループの中で、中学生自らがリーダーシップをとり、グループをまとめながら学習に取り組むことができることがもうひとつの目標でした。それぞれのグループで良くできている時と今一步の時がありましたが、参加した中学生全員がどこかの場面で自分の良さを発揮していたように感じました。



生徒には、開山祭、自然観察学習に参加して感じたことと学んだことを感想用紙に記入するという振り返りまでができるように課題が出されています。生徒が何を感じ、何を学んだのか感想用紙の内容に期待したいと思います。

☆もうすぐ県総合体育大会 これまでの集大成

今年度はこれまでよりも少しだけ早く夏休みになります。それに合わせるような形で各競技の県総体の日程も早まっているところがあります。本校の生徒が出場するのはバドミントンで7月19日から大会が始まります。1年生から3年生までの合計5名(シングルスに男子2名と女子1名、ダブルスに女子1ペア)が出場します。それぞれが個人の目標に向けて練習をしています。

総体は多くの3年生にとっては最後の大会であり、全国大会までつながる中学年代最大の大会です。運動部に所属している生徒の多くがこれまでの集大成として目標にしています。試合ですから勝敗があります。勝てればもちろんうれしいでしょうし負ければ悔しいと思うことでしょう。ただ、試合はトーナメント方式で、優勝者以外は必ずどこかで負けてしまうわけです。ですから負けたときに自分が何を感じるのか、多くの選手にとって大切になります。

総体まであと20日余りしかありませんが、出場する生徒には自分が納得できる取組をしてもらいたいと思っています。

